

国際ロータリー第2550地区【栃木】2022-2023年度

ガバナー月信

ガバナーからの
メッセージ動画は
youtubeで
視聴できます。

YouTube

GOVERNOR'S
message

R.I.D 2550 tochigi

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

vol.5
2022.11

contents

アイコンをクリックでそのページにとびます。



イマジン
ロータリー

01



02
Governor's
message
ガバナーメッセージ



03
強化月間寄稿



04 ガバナー公式訪問

9/1 鹿沼 RC
9/6 宇都宮 RC
9/7 宇都宮南 RC
9/14 馬頭小川 RC
9/20 鹿沼中央 RC
9/21 益子 RC
9/28 小山北 RC

Governor's
official visit



05

22-23 年度
鹿沼・鹿沼東・鹿沼中央ロータリークラブ
合同事業報告書

行事実施報告

end POLIO now 10.24



06

新入・物故会員



07

主要行事予定



08

会員数報告



10

コーディネーター NEWS・ハイライトよねやま



09

地区大会のご案内



11

NEWS



12

Governor's
gallery
ガバナーギャラリー



My ROTARY - Rotary International



2022-23 年テーマ『イマジンロータリー』

ジェニファー・ジョーンズ会長は、会員が夢を実現するために行動し、クラブの魅力を最大限に味わえる場としてのロータリーを思い描き、互いのつながりを深めることによって世界に変化をもたらすパートナーシップを築くよう会員に呼びかけています。

4つの テスト

＜言行はこれに照らしてから＞

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか



ガバナーメッセージ

さぬきなおみち

佐貫直通

国際ロータリー第 2550 地区 2022-23 年度ガバナー
宇都宮陽東ロータリークラブ

Governor's Message

対談：透明性ある基金が奉仕活動を支える ～『ロータリー財団』の使命と取り組み

Guest

もりもとけいぞう

森本敬三

第 2550 地区・2020-21 年度ガバナー
ロータリー財団委員会 委員長（大田原中央 R C）



佐貫ガバナー（G）:国際ロータリー第 2550 地区の皆様、こんにちは。11 月は『ロータリー財団月間』です。そこで、第 2550 地区 2020 年-2021 年度のガバナーであり、長きにわたり当地区のロータリー財団部門のカウンセラー・委員長としてご尽力をいただいております、森本敬三カウンセラーにお越しいただきました。ロータリー財団の概要や取り組み、2550 地区の現状と課題など、いろいろお伺いしたいと思います。森本カウンセラー、どうぞよろしくお願いいたします。

森本カウンセラー（C）:2550 地区の皆さん、こんにちは。私は大田原中央ロータリークラブ所属で、2022-23 年度は佐貫ガバナーよりロータリー財団委員長として拝命しております。どうぞよろしくお願いいたします。

佐貫 G: それではまず、ロータリー財団の概要・使命などについてお伺いしたいのですが。

森本 C: ロータリー財団の使命ですが、**ロータリー会員が人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解・親善・平和を構築できるよう支援すること**でございます。

佐貫 G: ロータリー財団の取り組みとして、**ポリオプラス**について…ポリオ＝「小児まひ」についてお話を伺いたいのですが。

森本 C: ロータリーはポリオ根絶に取り組んで 30 数年の時間を費やしております。皆様のご協力のおかげで、昨年 8 月にはアフリカ大陸でポリオの発症がゼロということが成し遂げられました。残すところ、皆さんで存じのとおり、アフガニスタンとパキスタンの 2 か国です。このアフガニスタンもテレビでニュースを見ると政情不安なところもありますが、WHO と現地政府を支えているタリバンが協力してポリオのワクチン投与について積極的に取り組めることになっております。現状それを行っているところでございます。また、パキスタンについても、パキスタン政府と国連の WHO が一緒に取り組んでいるところで、発症も 2 ケタですんでいます。本当にあと少しなので、ここで手を抜くわけにはまいりま

ガバナーからの
メッセージ動画は
youtube で
視聴できます。

YouTube
GOVERNOR'S
message



せん。是非皆様、ガバナーの地区目標であるポリオ根絶に対するひとり **30ドル** のご支援をぜひお願いしたいと思う次第です。

佐貫G: ぜひ30ドル、よろしくお願いいたします。さらにロータリー財団の重点項目、7項目となりましたがこれについてもお願いいたします。

森本C: 今までは6つの重点項目でした。この6つというのは「水と衛生」「地域社会の経済発展」「平和構築と紛争予防」「基本的教育と識字率の向上」「母子の健康」「疾病予防と治療」でした。これに「環境保全」が加わって7つになりました。

佐貫G: 重点項目、ありがとうございます。少し戻りますが、ロータリーカードを使うとポリオプラスの支援ができると伺っております。

森本C: ロータリーカードで買い物をすると、金額の0.3%（オリコ）がカード会社より国際ロータリーのポリオ根絶に寄付されることになっています。また、ダイナースカードでは0.5%です。必要な買い物をするだけで、ポリオ根絶の寄付になっていくという形になります。

佐貫G: カードを使うとカード会社がそれぞれ0.3%（オリコ）、0.5%（ダイナースクラブ）を出してくれるということですね。

森本C: そのとおりです。

佐貫G: 加入方法はと思ったらよろしいですか？



森本C: オリコとダイナースクラブ、それぞれホームページから入っていただいて、ロータリーカードを申し込んでいただければと思います。また、今ほとんどがインターネットでの申し込みですが、書類が必要な方はオリコ・ダイナースに言っていただければ送っていただけたらと思います。

佐貫G: **地区補助金**について、これまでの支援状況はどのようになっていますか？

森本C: 地区補助金は、昨年度は72,963ドルで申請クラブは35クラブでした。今年は49,026ドル、申請クラブは22クラブと少なくなっていました。これが伸びてくれるようにと皆さんにお伝えしていきたいです。

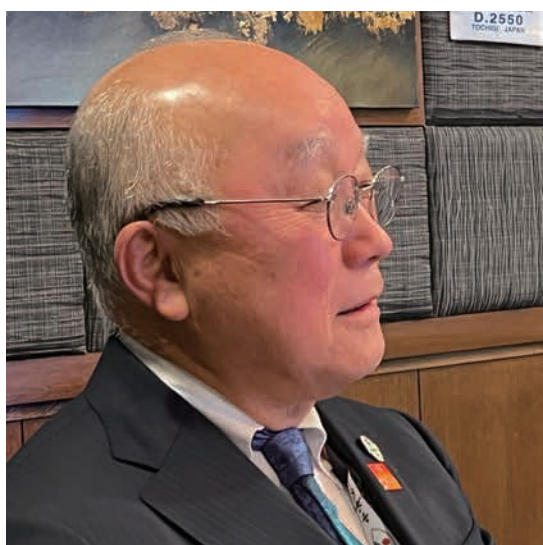
佐貫G: 2550地区の目標としてはどのくらいにしたらいいでしょうか。



森本C: ガバナーの目標は、1人あたり年次基金 150 ドルです。財団委員長とすれば、150 ドル以上を皆さんにお願いしたいところです。というのも、(このお金は) 3 年後に戻ってきます。戻ってきたときに、多くのクラブの皆さんに活用していただくには、金額を底上げしていかなければいけないので、目標は日本全国 150 ドルですが、それ以上の浄財のご寄付をお願いしたいと思います。また、先ほど申し上げましたポリオについては 1 人あたり 30 ドルをぜひお願いしたいと思います。国際ロータリーは年間 5000 万ドルを呼び掛けております。昨年はこの 5000 万ドルに満たなかったという経緯があるので、今年のジョーンズ会長は何としても 5000 万ドルを集めようということで取り組んでいます。この 5000 万ドルに対して、ビル&メリンダ・ゲイツ財団から 2 倍の上乗せがされて G P E I = ポリオ根絶推進計画に 1 億 5000 万ドルが行くという流れです。ぜひ 30 ドル、よろしくお願いいたします。

佐貫G: 具体的な数字をありがとうございます。これからについて、150 ドル以上のご支援を皆さんにお願いしたい、それが 3 年後に我々のクラブに戻ってきて、額が大きければ大きいほどそれだけの奉仕活動ができるということですね。その奉仕活動も、7 つの重点分野を重点的に取り組めるということということです。

次に、ロータリー財団としての奨学金制度についてお話をお聞かせください。



世界の平和を希求する若者達に、世界的ネットワークを使ってグローバルに学ぶ機会を！

森本C: 昨年度、地区ロータリー財団委員会の補助金として、グローバル補助金は 2 名の方がおられます。1 名はオランダのユトレヒト大学、もう 1 名はスウェーデンのストックホルム大学に行っております。お二人とも非常に優秀な方で言語も堪能で、ロータリー推奨の奨学生として立派に勉強されております。これからが楽しみです。また地区補助金では、2 名の奨学生がおり、1 名はイギリス、1 名はアメリカに留学して、地区補助金の場合は 1 年間の期限ですが、やはり優秀な向上心のある子供たちです。帰ってくるのが楽しみです。そのほかに奨学金制度ではないのですが、平和フェローという制度があります。これもロータリーが平和への取り組み、7 つの重点分野の一つですが、平和の推進そして紛争予防ということに対して取り組む人々、世界の平和を希求する方たちに学んでいただく平和センターは世界的ネットワークを使っています。日本では、三鷹にある国際基督教大学で行っております。それを支えているのは、東京地区のロータリークラブ。また全国のロータリアンの浄財が支えている形になります。

今、ヨーロッパではウクライナ紛争で非常にたいへんな思いをされていますが、今年の 4 月にウクライナに対しての人道支援ということで地区では 2 万ドルの支援をさせていただいております。また今年、やはりウクライナに「モバイルハウス」という仮設住宅…紛争で壊された住宅の再建のために仮設住宅を設置する動きが全国のロータリークラブからあり、当地区も取り組み始めたところです。平和への思いは、日本のロータリアンは特に強い意志をお持ちの方がたいへん多いです。ぜひ皆様方も平和への取り組みに対してご支援をお願いいたします。

佐貫G: 我々ロータリアンの浄財が奨学金となって、奨学生が海外で勉強できる、また日本国内でも国際基督教大学で平和についての勉強をしていただいて、それが世界平和につながってくるのだと思いますし、また送り出した学生は戻ってきたときに卓話という形でお話を伺うこともできるかと思います。ぜひ支援をお願いしたいと思います。ロータリー財団のお金の使い方の特徴を教えてください。

森本C: 地区目標である 150 ドルを例えば寄付をしていただくと、半分は世界のロータリアンとシェアされ、残りの半分は地区に戻ってきます。戻ってきた半分 (75 ドル) のさらに半分 (37.5 ドル) を地区補助金として皆さんで使うことができます。残った半分 (37.5 ドル) は地区の DDF (地区財団活動資金) として使うことができるという非

常に透明性のあるわかりやすい基金の仕組みになっています。また、世界中でシェアされたワールドファンドは、世界中のロータリアン・ロータリークラブが7つの重点項目への支援として使われる、また人道支援として使われます。ぜひそのお金の使い方もご理解いただき、ロータリーの特色である7つの重点分野にご理解をいただきたいと思います。支援は年次基金だけではなく、**冠名基金**というものもあります。ご自分やご家族のお名前を冠した基金を設立できるもので、非常にロータリーの特色を表しているかと思います。一度設立すると永久にその資金が使われる…要は25,000ドルという資金ですがこれを冠名基金としていただくと、その運用利息で支援をしていくという形なので、元本はずっと活かされていきます。基金の名前もずっとそのままなので、非常にロータリーの素晴らしいところがあります。初期の金額が25,000ドルと高額ですが、一度設立すればずっと残りますので、ぜひ使っていただきたいと思います。また、**恒久基金**という制度もあります。これは年次基金と違って、運用した利息で奉仕活動に使う、元本はそのままずっと活かしておくという制度です。リンゴの木を植えて実がなったらその実を享受するのは次の世代の方たち、リンゴの木は植えたらずっと育っていく、そこから実がどんどんできていくというイメージをもっていただくとわかりやすいかと思います。ロータリー財団として皆様からお金を集める、その集めた資金が有効にロータリアンの奉仕活動に活かされているということをぜひご理解いただきたいと思います。

地区目標である150ドルを例えば寄付をしていただくと、半分は世界のロータリアンとシェアされ、残りの半分は地区に戻ってきます。戻ってきた半分(75ドル)のさらに半分(37.5ドル)を地区補助金として皆さんで使うことができます。残った半分(37.5ドル)は地区のDDF(地区財団活動資金)として使うことができるという非常に透明性のあるわかりやすい基金の仕組みになっています。



佐貫G: ありがとうございます。懇切丁寧なご説明でおわかりになったかと思います。我々の浄財が本部から戻ってきてロータリアンが使えるという、ほかに例のないロータリーの特徴的な支援・寄付の使い方だと思います。皆さん、どうかご協力のほどお願いいたします。

本日のお話は、入会して間もないロータリアン、さらにロータリー歴の長い方々にもとてもわかりやすい、また理解の深まる内容だったかと思います。2550地区の皆様、ぜひこれからもロータリー財団へのご協力をお願いいたします。森本カウンセラー、本日は貴重なお話をありがとうございました。これからもご協力のほど、よろしくお願いいたします。

ポリオ根絶の為に！
カードでポリオプラス支援

ロータリー・クレジットカードの御案内ページへ





強化月間委員長寄稿

『ロータリー財団 グローバル補助金利用奨学金について』

あ か さ か け い い ち

赤坂 圭一 (足利東 RC)

第 2550 地区 ロータリー財団委員会 平和フェロー・奨学金委員長

ロータリー財団奨学金には二つの制度があります。

◆ 地区補助金利用の奨学金

◆ グローバル補助金利用の奨学金 (以下グローバル奨学金と略します)

前年度 (申請は前年度、実行は今年度)、当地区より初となるグローバル奨学金を利用した学生を 2 名輩出いたしました。そこでここではグローバル奨学金について記します。グローバル奨学金を利用するためには、大学院レベルの研究過程で、対象がロータリー財団の重点分野に合致することが必要です。すなわち ・平和と紛争予防 / 紛争解決 ・疾病予防と治療 ・水と衛生設備 ・母子の健康 ・基本的教育と識字率向上 ・経済と地域社会の発展 ・環境保全 という 7 つの分野に該当する学生に給付型奨学金を支給します。

金額は、DDF (地区活動資金) + WF (ワールドファンド: DDF 拠出金額 × 80%) + スポンサークラブ現金拠出 (DDF の 10%) となります。当地区財団委員会では学生一人当たり DDF より \$ 20,000 の予算を組んでいます。つまり支給上限は \$ 20,000 (DDF) + \$ 16,000 (WF) + \$ 2,000 (クラブ拠出) = \$ 38,000 となります。ただし、募集人数は年度予算により変更があります。これらはすべて、会員の皆様の寄付で賄われています。当地区でも限られた予算の中で、奨学金の支給がいかに効果を発揮できるかということを常に考えております。

将来国際的に活躍すべく向上心に燃えた学生の一助となることはもとより、学生のサポートを通じたスポンサークラブとホストクラブとの友好関係の発展にも大きく寄与することだと思います。この関係により、学生の安全や有意義な勉学、文化・慣習の理解や尊重など現地生活での経済面以外の問題の解決も担保されます。

現在、オランダ・ユトレヒト大学 (環境保全: 宇都宮北 RC)、スウェーデン・ストックホルム大学 (基本的教育: 宇都宮東 RC) に各 1 名を派遣しております。グローバル補助金奨学金申請にあたり、学生の能力は当然ながらスポンサークラブと現地地区との綿密な連携、協力があってロータリー財団の承認となりました。これを契機にさらにロータリーの輪が広がりますよう期待いたします。

他方で重要なことは、皆様に財団の意義、資金の使途を十分ご理解いただき、積極的かつ継続的な寄付をお願いすることです。シェアシステムにより世界でそして地区で 3 年後の奉仕活動の貴重な財源となります。それらの資金が私たちに代わって地域や地球の反対側での紛争の解決や健康、教育その他の大きな価値を生み出しています。

ロータリー財団のグローバルな奨学金制度による人材育成の取組みに何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。



強化月間委員長寄稿

地区補助金ニュース

『2022～23 年度地区補助金について』

くまくら まなぶ

熊倉 学 (宇都宮陽北 RC)

第2550地区 地区財団補助金委員会 委員長

2022～23 年度地区補助金について

本年度も既に申請クラブへの補助金振込が完了し、その補助金プログラムを実行されている頃かと存じます。まだコロナ禍中で、例会も思うように開催されていないような状況下を鑑みると、例年30数件ある申請が今年度は23件になったものの、皆様方の奉仕への使命感や意気込みが伺えました。

補助金事業へのご協力に感謝しております。

今年度は急激な円安や物価上昇等でプログラム実行に際して思わぬ支障が予想されますが宜しくお願い致します。また3月の補助金説明会の時にお知らせしましたように、今年度から申請にあたって以下の大きな変更点があります。

◆ 補助金の上限額が 3,000 ドルから 2,000 ドルに減額になり、クラブ負担金が 20%から 10%に下がりました。

◆ 地区財団補助金奨学生の申請条件を緩和し、所謂専門学校（昨年までは大学以上）への申請も可能になりました。

ご承知のように、補助金の原資は3年前の皆様方の寄付（+運用益）です。

3年前というとコロナ禍で例会開催が出来なくなってきた頃で、その影響が次年度からの補助金原資に影響されると予想され、TRFと補助金委員会は危機感を持っているところです。

皆様のクラブが補助金事業を通して意義ある奉仕活動が出来るよう、委員会はサポートをさせていただきますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

*** 次年度地区補助金セミナーは2月11日もしくは12日（会場の都合上）に開催予定しております。**

2022.09.01

Governor's
Official Visit

鹿沼ロータリークラブ

会 長 櫻井 武彦
幹 事 日向野博史

さる9月1日(木)佐貫直通ガバナーをお迎えして、公式訪問が無事執り行われました。

関係者皆様のご尽力のお陰様で、活発な意見交換が出来ました事、この場をお借りいたしましてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

我が鹿沼ロータリークラブは、2022～23年度 櫻井武彦会長の下 会員数65名の63年目を迎える事が出来ました。その63年の歴史の中で1989～90年度 石原敬士パストガバナーを輩出し、65周年を迎える2024～25年度、2人目の市田登ガバナーノミニーが決まっております。クラブよりガバナーを輩出する事は名誉なことであり、気の引き締まる思いです。クラブ一同結束を固めて、市田登ガバナーノミニーを支えていく所存でございます。どうぞ皆さま、ご支援・ご協力の程宜しくお願い致します。

2022.09.06



歓迎

Rotary



2022～2023年度 国際ロータリー第2550地区

佐貫直通 ガバナー公式訪問

宇都宮ロータリークラブ

2022.9.6

Governor's
official visit

宇都宮ロータリークラブ

会 長 大矢 裕啓
幹 事 崎尾 肇

2022年9月6日（火）（於：東武ホテルグランデ）第2550地区ガバナー佐貫直通様、第3グループAガバナー補佐二十二修様（随行者：宇都宮陽東ロータリークラブの渡邊恒彬様、渡辺玲子様）をお迎えし、「ガバナー公式訪問」例会が執り行われました。

会長・幹事懇談会では、会員の増強及び退会防止に関してや過去から今年度以降の国際奉仕事業に関することが話題となりました。また、過去数年にわたり常置委員会とは別に設置している会議体についてのご質問もいただき、当クラブが抱え検討を続けている項目に対してもガバナーのお立場からアドバイスを頂戴しました。佐貫ガバナーへ率直な質問もさせていただきとても濃厚かつ有意義な懇談会となりました。

例会の卓話では、佐貫ガバナーが今年度ロータリーテーマである「イマジン」を引用し、RI会長のテーマであるDEIに関してやDXに関するお話を頂き、佐貫ガバナーの抱くロータリーへの熱い思いを会員にお伝えいただきました。

例会終了後のオープンディスカッションにおいてもポリオに関する一層掘り下げたご説明をいただき、質疑応答ではRIや地区の運営に関する方向性の質問などにもご対応いただきました。当クラブやクラブのメンバーにとってとても価値ある一日となりました。

当クラブにとりましてはコロナ禍による数年ぶりの「ガバナー公式訪問」でしたので、入会后初めてというメンバーにとっても良い経験を提供できました。大きな不手際もなく無事お迎えできたことに安堵する次第です。ご多忙の中ご来訪いただいた佐貫ガバナーに感謝申し上げるとともに本年度の活動の活況をご祈念申し上げます。

2022.09.07

2022~2023年度 国際ロータリー第2550地区
Rotary 歓迎 佐貫直通ガバナー公式訪問
宇都宮南ロータリークラブ
IMAGINE ROTARY



Governor's
official visit

宇都宮南ロータリークラブ

会 長 平澤 照隆
幹 事 青木 克浩

9月7日(水) ホテルニューイタヤにて佐貫直通ガバナー、仲田俊夫ガバナー補佐をお迎えして「ガバナー公式訪問例会」を開催いたしました。

当クラブは、会員数56名（うち女性会員数7名）が在籍しております。今回の公式訪問を受け、当クラブとして初めてハイブリット例会の形態を取り入れました。昨今なかなか終息の兆しが見えないコロナ禍において、佐貫ガバナーも推奨しているオンライン例会の開催に辿りつけた事に安堵しておりますが、クラブ内では例会出席を重視する声があることも否めません。まだ動き始めた事ですので今後継続できるよう模索してまいります。

佐貫ガバナーが提唱した「ロータリーを理解し 想像し 多くを達成しよう」のスローガンに今一度向き合い、反省し、一歩を踏み出そうと実感しております。

当クラブでは、様々な奉仕活動をしてまいりましたが、現在定期的に行っている「こども食堂支援」は月2回の奉仕の中、会員にも少しずつ浸透しており、場所の提供や食材の提供、テーブルや雑貨の提供など身近な活動を通して奉仕活動に参画でき、対外的にもロータリー活動を微力ながら理解してもらえたと思います。この度は、ご訪問頂き心より御礼申し上げます。

2022.09.14



Governor's
Official Visit

馬頭小川ロータリークラブ

会 長 白相 淑久
幹 事 大熊 貞雄

9月14日（水）、当クラブ例会会場であるホテル美玉の湯にて佐貫直通ガバナー、第2グループ高野徹也ガバナー補佐、随員として宇都宮陽東 RC 地区幹事橋本正行様、地区副幹事片村行雄様をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。

本来ならば全会員出席の下で、佐貫ガバナーをお迎えする形が取れば良かったのですが、白相会長より当クラブ会員に新型コロナ感染者が出たこともあり会長・幹事のほか副会長（会長エレクト）塩澤雄二、米山奨学会委員長田島良久、情報委員長深澤 壽、SAA 田所伸張の 6 名に絞り、通常例会形式は取り止め、会長・幹事懇談会と例会を行う形で佐貫ガバナーにご了承たまり、午前11時から懇談会と例会形式で進行。恒例のバナーの交換を行った後、ガバナー記念卓話では、プロジェクターを利用し、ガバナーが USB にてご準備されてきた



RI の推奨する「D（多様性）・E（公平さ）・I（インクルージョン・包括性）」について詳しくご説明がなされ、特にロータリーとローターアクトが同格という位置付けに変革して行くロータリーについて活発な意見交換がなされ、クラブ内活動に関しても陽東クラブの活動例（特に経済的支援者に対する支援活動）など具体的な事例でのお話と質疑応答、当クラブでも検討していることもあり有意義なお話とアドバイスを頂戴出来ました。大変有難うございました。 例会終了後、別会場にて記念写真撮影を最後に、佐貫ガバナー公式訪問が終了いたしました。



Governor's
official visit

鹿沼中央ロータリークラブ

会 長 池澤 達夫
幹 事 留目 学

佐貫直通ガバナー、湯澤義典ガバナー補佐をお迎えし、コロナ禍により当クラブは、規模を縮小し、ガバナー公式訪問が行れる予定でしたが、2週間前に開催いたしましたガバナー補佐訪問例会にてお話を拝聴し、急遽通常でのガバナー公式訪問に変更いたしました。

佐貫ガバナーの当クラブ向けに内容を作っていたいただいたパワーポイントでは、全会員が通常でのガバナー公式訪問に変更し、間違いなかったと感じところではないでしょうか。また、現況報告書を詳細に確認していただき、様々なご指導をいただき、的確なアドバイスもいただきました。

当クラブは、「奉仕の原点は思いやりの心」のテーマのもと、コロナの対策をして活動をしてまいります。

今年度は、地域の小学校の児童や中学校の生徒と様々な事業を展開する予定です。小学校では、出前職業卓話、防災教育事業。中学校では、老人ホーム慰問やクリーン作戦などを実施する予定です。

少人数のクラブですが、ロータリーの奉仕を通して、地域で認知され、地域の方々から見て魅力あるクラブになるよう精進したいと思います。

今後のクラブ運営に希望の持てる素晴らしい公式訪問となりました。有意義な時間を本当にありがとうございました。

2022.09.21



Governor's
Official Visit

益子ロータリークラブ

会 長 藤原 郁三
幹 事 高根澤良一

9月21日（水）、アプローズ益子に例会場を変更して、佐貫ガバナー公式訪問を開催しました。例会に先立って会長・幹事懇談会ではガバナーから「月信」のペーパーレス化等今のIT化時代に沿ったロータリーの変革についての話が主でした。ガバナーは、改革という言葉は革命をイメージして好きではないので、あえて「変革」という言葉を使うと話されていました。佐貫ガバナーの優しい人柄がにじみ出ているように感じました。

益子クラブは、私も含めて年配の会員が多くパソコンが苦手なので、せめて「月信」は冊子と併用してほしいとお願いしたのですが、経費がかかり過ぎて難しいとのことでした。



また、会員増強委員長の牟田会員から、益子ならではの特別支援学級児童・生徒の陶芸教室実績の報告がありました。今後も、陶芸関係の会員を増やしていく方針だと説明しました。ガバナーからは、その地域のクラブにしか出来ないことは素晴らしいことだとお褒めの言葉を頂きました。

本番のガバナー卓話では、プロジェクターを使ってRI会長の「イマジンロータリー」のテーマと今年度の地区目標について分かりやすく説明を受けました。今後活かしたいと思います。食事中には、ジョン・レノンの「イマジン」の曲を流しながら、佐貫ガバナーの穏やかな語り口もあり、和やかに公式訪問を終えることができました。

2022.09.28



2022～2023年度 国際ロータリー 第2550地区

歓迎 佐貫直通ガバナー公式訪問

Governor's
Official Visit

小山北ロータリークラブ

会 長 鈴木 一雄
幹 事 河野 浩平

9月28日（水）小山北ロータリークラブのガバナー公式訪問が和風ダイニング彩華にて行われました。天候にも恵まれて午前11：00から懇談会が開催され佐貫ガバナーと山中ガバナー補佐、鈴木会長を中心に当クラブの現状やコロナ禍となった今、情報共有が厳しくなっている現状について意見交換をさせていただきました。

例年、継続的に行われてきた奉仕活動なども行えず、例会や交流の場を遮られてしまう現状を御理解いただいた上、今後はネットを介した報告会やリモート会議が主流になるであろうとのご意見のもとRIの様々な情報をパワーポイントを用いて卓話をいただきました。また、当クラブではデンマークから来日した留学生がおります。留学生についての質問に対応していただいたり、一生懸命覚えた日本語のスピーチを親身にお聞きしていただいたりしました。

小山北ロータリークラブは2550地区の中でも平均年齢53歳8カ月と大変若いメンバーの在籍するクラブですので、佐貫ガバナーのお話はロータリーを理解する上で大変勉強になりました。今回のガバナー公式訪問の内容を会員全体で共有し、当ロータリークラブの活動などに生かしていけるようクラブ会員一同、精進していきたいと思います。

結びに佐貫ガバナー、山中ガバナー補佐、熊本随員様、増淵随員様、尾崎随員様、お忙しい中、小山北ロータリーに御来訪いただきまして誠にありがとうございました。



2022 年 10 月 24 日（月）の世界ポリオデーに際して、鹿沼市の近隣 3 クラブ合同事業により地域の方々にポリオについての理解を深め、グッズの配布や募金活動を行ってポリオ根絶を目指すロータリアンの活動について情報発信を行いました。

＜日時＞ 2022 年 10 月 24 日（月）世界ポリオデー

概要

＜内容＞
 ・鹿沼市役所～まちの駅新鹿沼宿へのポリオ撲滅の行進
 ・まちの駅新鹿沼宿での募金活動およびポリオ根絶関連グッズの配布

＜場所＞ 「鹿沼市役所」 栃木県鹿沼市今宮町 1688-1
 「まちの駅新鹿沼宿」 栃木県鹿沼市仲町 1604-1

各イベント報告

2022.10.24

ポリオ断絶への行進

ポリオ根絶活動の「赤」や 22-23 年度 RI 会長を表す「紫」などの衣装を身に付け、ポリオ根絶のプラカードや旗などを掲げて目的地まで行進を行いました。出発前には鹿沼市長にも活動の趣旨説明と出発式も行いました。



ポリオ根絶への募金活動・グッズの配布

まちの駅新鹿沼宿にてポリオ根絶のためのロータリアンの活動を紹介および募金活動を行いました。同時に関連グッズの配布（3 クラブネーム入り END POLIO NOW の缶バッジ）も行い、当日の募金活動では合計 134,655- の寄付をいただきました。当日参加できなかった会員には例会時に今回の報告と共に追加で寄付を募り、後日送金を予定しております。

06 新入・物故会員

新入会員紹介



かないだ たかし

金井田 貴

田 沼

2022年7月7日入会

(株)金井田電業
代表取締役

皆様のお仲間にならせて頂きありがとうございます。宜しくお願い致します。



しみず かずひろ

清水一宏

田 沼

2022年9月1日入会

関東建設株式会社
代表取締役

田沼のためにがんばります。



さいとう さとし

齊藤誠之

西那須野

2022年10月4日入会

有限会社 那須クリーン
統括部長

焦らずゆっくりと活動して参りますので、皆様よろしくお願
いいたします。

追悼 岩本 一男

いわもと かずお

2022年9月8日逝去 (享年67歳)

所 属 宇都宮南ロータリークラブ

2017-2018 職業分類委員会 委員長

2018-2019 職業奉仕委員会 委員長

2020-2021 出席 委員長

2021-2022 ロータリー情報 RLI 研修

ポール・ハリス・フェロー 米山功労者



追悼 内田 瑞夫

うちだ みずお

2022年10月13日逝去 (享年86歳)

所 属 田沼ロータリークラブ

1983-1984年度 会長

1978-1979年度 クラブ会報委員長

1982-1983年度 クラブ奉仕委員長

1986-1987年度 R 情報委員長

1991-1992年度 国際奉仕理事

1994-1995年度 会員選考委員長

1996-1997年度 会員増強委員長

2004-2005年度 R 史科委員長

2014-2015年度 監事

1987年度ポール・ハリス・フェロー 2000年度(1984年準功労者Y3)



◆◆◆ ご冥福をお祈り致します ◆◆◆

22-23 年度 地区内主要行事

月	日	曜日	行 事	場 所	担 当
11	6	日	米山記念奨学会カウンセラー研修会	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
11	12～13	土～日	RYLAセミナー	コンセーレ宇都宮	地区RYLA委員会
11	14	月	第1回インターアクト合同会議	ベルヴィ宇都宮	地区IA委員会
11	24	木	23-24年度第2回ガバナー補佐研修	ベルヴィ宇都宮	
11	26	土	米山記念奨学会面接官オリエンテーション	ベルヴィ宇都宮	地区米山記念奨学会委員会
12	9	金	地区大会記念ゴルフ大会	宇都宮カンツリークラブ	ホスト:宇都宮陽東RC
12	10	土	2022-23 地区大会 会長・幹事会 指導者育成セミナー RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会	ベルヴィ宇都宮	〃
12	11	日	2022-23地区大会 本会議	ライトキューブ宇都宮 (宇都宮駅東)	〃
12	11	日	青少年交換オリエンテーション・クリスマスパーティー	ベルヴィ宇都宮	〃
12	15	木	23-24年度第3回ガバナー補佐研修	ベルヴィ宇都宮	
12	18	日	2023学年度米山記念奨学生面接選考試験	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
12	25	日	22-23第2回諮問委員会 ガバナーエレクト壮行会	ホテル東日本宇都宮	ガバナー事務所

2023 年

2	4	土	第9グループIM		第9グループ
2	5	日	第3回諮問委員会	ベルヴィ宇都宮	ガバナー事務所
2	5	日	第2回地区運営委員会	ベルヴィ宇都宮	ガバナー事務所
2	5	日	第6グループ IM		第6グループ
2	9	木	第3グループAB IM		第3グループAB
2	12	日	青少年交換オリエンテーション日本文化体験	宇都宮 多気山不動尊	地区青少年交換委員会
2	18	土	23-24地区チーム研修セミナー	ベルヴィ宇都宮	佐野RC・ガバナー事務所
2	18	土	23-24年度第4回ガバナー補佐研修	ベルヴィ宇都宮	
2	18	土	第8グループIM	ニューミヤコホテル	第8グループ
2	25	土	第5グループIM	小山グランドホテル	第5グループ
2	26	日	米山記念奨学会 修了式・歓送会	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
3	5	日	第4グループIM	フォーシーズン静風	第4グループ
3	19	日	23-24会長エレクト研修セミナー(PETS)	葛生あくとブラザ	ホスト:葛生RC
3	19	日	23-24幹事エレクト研修セミナー(SETS)	葛生あくとブラザ	ホスト:葛生RC
3	26	日	第7グループIM	ニューサンピア	第7グループ
4	9	日	米山新奨学生・カウンセラー対象オリエンテーション	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
4	16	日	23-24年度派遣学生 オリエンテーション	ホテルニューイタヤ	地区青少年交換委員会
5	14	日	23-24地区研修・協議会	佐野日大高校	ホスト:田沼RC
5	14	日	23-24年度第5回ガバナー補佐研修	佐野日大高校	
5	20	土	宇都宮陽東ロータリークラブ創立30周年記念式典・祝賀会	ベルヴィ宇都宮	宇都宮陽東RC
6	4	日	22-23青少年交換最終オリエンテーション	ホテルニューイタヤ	地区青少年交換委員会
6	8or15	木	23-24年度第6回ガバナー補佐研修		
6	18	日	米山 第1回地区米山委員会・奨学生卓話研修会	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会

08 会員数報告

国際ロータリー第 2550 地区 9 月会員増強・出席報告

分 区	クラブ名	例回数	会 員 数								内女性 会 員	40歳未 満
			7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減			
第1 グ ル ー プ	大 田 原	4	24	23	0	0	0	1	-1	1	0	
	黒 磯	2	33	35	0	0	2	0	2	3	0	
	西 那 須 野	3	47	48	0	0	1	0	1	3	0	
	黒 羽	3	7	7	0	0	0	0	0	0	0	
	大 田 原 中 央	3	24	23	0	0	0	1	-1	1	2	
第2 グ ル ー プ	鳥 山	0	15	15	0	0	0	0	0	2	0	
	氏 家	4	23	23	0	0	0	0	0	2	0	
	矢 板	4	10	9	0	0	0	1	-1	1	0	
	馬 頭 小 川	3	21	21	0	0	0	0	0	0	0	
	高 根 沢	2	14	14	0	0	0	0	0	0	0	
第3 A グ ル ー プ	宇 都 宮	3	105	106	1	0	2	1	1	3	1	
	宇 都 宮 西	5	68	69	1	0	1	0	1	0	2	
	宇 都 宮 北	5	41	43	0	0	2	0	2	0	1	
	宇 都 宮 90	3	45	45	0	0	0	0	0	5	3	
	(宇都宮90結・衛星)	2	4	4	0	0	0	0	0	3	2	
	宇 都 宮 陽 北	4	46	47	0	0	1	0	1	9	9	
	宇 都 宮 東	4	113	112	0	0	0	1	-1	0	3	
第3 B グ ル ー プ	宇 都 宮 南	4	57	55	0	1	0	2	-2	7	1	
	宇 都 宮 陽 東	4	49	49	0	0	0	0	0	9	1	
	宇 都 宮 陽 南	3	23	24	0	0	1	0	1	7	4	
	宇 都 宮 さ つ き	3	26	26	0	0	0	0	0	4	2	
	第4 グ ル ー プ	真 岡	4	54	54	0	0	0	0	0	0	0
益 子		4	31	31	0	0	0	0	0	2	0	
真 岡 西		3	39	39	0	0	0	0	0	5	0	
下 野 上 三 川		2	19	19	0	0	0	0	0	3	0	
第5 グ ル ー プ	小 山	4	22	21	0	0	0	1	-1	1	0	
	小 山 南	4	14	15	0	0	1	0	1	2	0	
	小 山 東	3	22	22	0	0	0	0	0	0	0	
	小 山 北	4	23	23	0	0	0	0	0	0	4	
	小 山 中 央	3	24	24	0	0	0	0	0	2	0	
第6 グ ル ー プ	栃 木	4	47	47	0	0	0	0	0	5	0	
	栃 木 西	4	34	34	0	0	0	0	0	1	0	
	岩 舟	2	10	10	0	0	0	0	0	0	0	
	壬 生	2	17	19	0	0	2	0	2	1	0	
	栃 木 南	4	40	40	0	0	0	0	0	9	1	
第7 グ ル ー プ	日 光	4	21	21	0	0	0	0	0	4	0	
	鹿 沼	5	65	65	0	0	0	0	0	2	2	
	今 市	3	41	43	0	1	3	1	2	1	1	
	鹿 沼 東	3	37	37	0	0	0	0	0	5	0	
	鹿 沼 中 央	2	17	17	0	0	0	0	0	2	0	
	今 市 き ぬ	1	27	29	0	0	2	0	2	0	0	
第8 グ ル ー プ	足 利	2	23	23	0	0	0	0	0	1	0	
	足 利 東	3	30	32	0	0	2	0	2	2	0	
	足 利 西	2	11	11	0	0	0	0	0	1	0	
	足 利 わ た ら せ	3	35	35	0	0	0	0	0	0	0	
第9 グ ル ー プ	佐 野	2	55	54	0	0	0	1	-1	0	0	
	葛 生	4	36	36	0	0	0	0	0	0	0	
	田 沼	0	44	45	1	1	2	1	1	0	0	
	佐 野 東	3	21	22	0	0	1	0	1	2	0	
	48RC		1654	1666	3	3	23	11	12	111	39	

2022-2023 年度
国際ロータリー第 2550 地区

地区大会



イマジン
ロータリー

ロータリアンの皆様へ



2022-23 年度
ガバナー
佐貫 直通
Naomichi Sanuki
【宇都宮陽東ロータリークラブ】



2022-23 年度
地区大会実行委員長
菊地 澄男
Sumio Kikuchi
【宇都宮陽東ロータリークラブ】

ロータリアンの皆様には、日頃からロータリー活動に対し、深いご理解を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、2022-2023 年度地区大会は、RI 会長代理に御所川原ロータリークラブの山崎淳一様をお迎えし、12 月 9 日（金）宇都宮カンツリーにて記念ゴルフ大会、10 日（土）はベルヴィ宇都宮にて会長・幹事会地区指導者育成セミナー及び RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会、そして翌 11 日（日）には、本会議をこの地区大会で初めて使用されます、宇都宮駅東口に新たに誕生しました、『ライトキューブ宇都宮』にて開催されます。

今大会は、ジェニファー・ジョーンズ RI 会長が提唱された『イマジンロータリー』のもと、一人一人のロータリアンが想像力を発揮して、多様性、公平さ、インクルージョンを認識し、お互いを尊重し相互理解できる機会となれればと思います。ロータリー最大の祭典である地区大会に、一人でも多くの会員とお会いできることを楽しみにしております。

2022 年 12 月 9 日（金）～11 日（日）

- 12 月 9 日（金） 記念ゴルフ大会
- 12 月 10 日（土） 会長・幹事会 / 地区指導者育成セミナー
RI 会長代理御夫妻歓迎晩餐会
- 12 月 11 日（日） 地区大会本会議

会場案内

地区大会本会議

ライトキューブ宇都宮
〒321-0969 宇都宮市宮みらい 1-1
TEL 028-632-2858



会長・幹事会 / 地区指導者育成セミナー / RI 会長代理御夫妻歓迎晩餐会

ベルヴィ宇都宮
〒321-0945 宇都宮市宿郷 5-21-15 TEL 028-633-1165
<https://www.bellevie-u.com>

記念ゴルフ大会

宇都宮カンツリークラブ
〒320-0051 宇都宮市上戸祭町 3100 TEL 028-624-7221
<https://www.utsunomiya-cc.co.jp>



2022-2023 年度
国際ロータリー第 2550 地区 地区大会事務局
ガバナー事務所内

〒321-0945 宇都宮市宿郷 5-21-15 ベルヴィ宇都宮内
TEL 028-651-2550 FAX 028-651-2551 E-mail m2550@agate.plala.or.jp

ホストクラブ：宇都宮陽東ロータリークラブ

12/ 9 (金)

記念ゴルフ大会

会場：宇都宮カンツリークラブ

12/ 10 (土)

会長・幹事会 地区指導者育成セミナー

会場：ベルヴィ宇都宮

【会長・幹事会】

13時00分 登録開始
13時25分 RI会長代理入場
13時30分 点鐘
開会の言葉
RI会長代理紹介
来賓紹介
ガバナー挨拶
13時50分 RI会長代理挨拶
14時00分 地区会計収支報告
監査報告
承認
14時15分 2021-22年各種表彰
米山記念奨学会及び
ロータリー財団表彰

14時30分 委員会報告
15時00分 閉会・点鐘
休憩

【地区指導者育成セミナー】

15時10分 点鐘
ガバナー挨拶
地区研修委員長挨拶
中谷研一 研修リーダー
15時20分 基調講演
『ロータリーの変革と成長』
山崎淳一 RI会長代理
15時50分 パネルディスカッション
16時50分 点鐘

【コーディネーター】
中谷研一 研修リーダー
【パネリスト】
山崎淳一 RI会長代理
佐賀直通 ガバナー
鈴木 宏 パストガバナー

12/ 10 (土)

RI会長代理ご夫妻 歓迎晩餐会

【RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会】 会場：ベルヴィ宇都宮

17時00分 受付・登録開始
17時30分 RI会長代理ご夫妻入場
開会の言葉
演奏会
歓迎の言葉

RI会長代理・ご来賓紹介
ガバナー挨拶
RI会長代理挨拶
祝宴乾杯
閉会
20時00分 手に手つないで

晩餐会料理監修 音羽 和紀 Kazunori Otowa



大学卒業後、渡欧。ドイツ、スイス、フランスのホテル、レストランで修行。フランス料理界の重鎮、故アラン・シャベルに日本人として初めて師事。帰国後、1981年、宇都宮にレストラン「オーベルジュ」を開店。フランス料理店のほか、レストラン・バー、デリカショップなどを経営。そのほか、親と子の料理教室や高校で料理を教えるなど子供達の食生活をテーマにした活動や、地域の産物を使った料理の開発、県の農政委員を務めるなど、地域の食環境のためにも活動。

倉沢 大樹 Daiju Kurasawa

晩餐会演奏者

1993年シンガポールで開催された第30回インターナショナル・エレクトーン・フェスティバルに日本代表として出場し、21カ国約7万人の中からグランプリを受賞。長野冬季オリンピックでは、野外競技表彰セレモニーの作曲・演奏を担当。現在は、全国各地でのコンサートのほか、アレンジャー、ジャズ・ピアニストとしても活動中。
大阪音楽大学・大阪音楽大学短期大学部 電子オルガン 特任准教授 宇都宮短期大学音楽科特別講師 栃木県未来大使



山崎 淳一

Junichi Yamazaki

税理士・ショッピングセンター経営

1953年1月 青森県つがる市生まれ
東京経済大学経済学部卒業

山崎淳一税理士事務所所長 (株) 経営情報センター 代表取締役社長 五所川原街づくり (株) 代表取締役社長 へイルムの街ショッピングセンター管理部長 五所川原商工会議所会頭

1991年 五所川原ロータリークラブ入会	2016-20年 米山記念奨学会常務理事
2002-04年 地区ロータリーアクト委員長	2017-20年 規定審議会地区代表委員
2005-06年 クラブ会長	2019-20年 RI研修リーダー
2008-09年 RI第2830地区(青森)ガバナー	米山記念奨学会副理事長
2015-16年 地区研修リーダー(4回目)	2020-22年 米山梅吉記念館理事
2015-18年 第一ゾーンボリオ機軸コーディネーター	2021-現在 RI日本支部地区支援委員会副委員長
2015-16年 米山記念奨学会財務委員長	

【ロータリー財団】ロータリー財団大口寄付者 ロータリー財団ベネファクター
ロータリー財団功労表彰状
【ロータリー米山記念奨学会】米山功労者メジャードナー

12/ 11 (日)

地区大会本会議

会場：ライトキューブ宇都宮

<午前の部>

8時30分 受付・登録開始
9時00分 RI会長代理ご夫妻入場
点鐘
国歌斉唱
ロータリーソング 奉仕の理想
物故者に対し黙祷
9時10分 開会の言葉
9時13分 歓迎の言葉
9時18分 RI会長代理・ご来賓紹介
9時23分 地区外参加クラブ紹介
9時30分 ガバナー挨拶並びに地区現況報告
9時50分 RI会長代理挨拶並びにRIの現況報告
10時15分 大会委員会報告並びに上程
登録委員会
資格審査委員会
決議委員会
大会決議案採択
選挙管理委員会
10時30分 来賓祝辞 佐藤栄一市長
記念行事目録贈呈
10時40分 米山学友及び地区米山奨学生紹介
ロータリー財団学友会
諸事連絡
11時30分 昼食 休憩



宇都宮駅東口直結

<午後の部>

12時30分 特別参加者紹介
青少年奉仕
RYLA
インターアクトクラブ
1年交換留学生
13時15分 ロータリーアクトクラブ発表
13時40分 来賓祝辞 福田富一知事
記念行事目録贈呈
14時00分 記念講演 隈研吾氏
15時20分 ガバナー謝辞
15時25分 ガバナー補佐紹介
地区内参加クラブ紹介
各種表彰
15時45分 記念品贈呈
RI会長代理ご夫妻
直前ガバナー・地区幹事・直前会計長
16時25分 新入会員紹介
ガバナーエレクト・ガバナーノミニ紹介
ガバナーエレクト挨拶
ガバナーノミニ挨拶
次期地区大会開催ホストクラブ代表挨拶
16時40分 RI会長代理所感
ガバナー謝辞
閉会の言葉
16時50分 点鐘

記念講演講師

隈 研吾

kengo kuma

1954年生。1990年、隈研吾建築都市設計事務所設立。慶應義塾大学教授、東京大学教授を経て、現在、東京大学特別教授・名誉教授。30を超える国々でプロジェクトが進行中。自然と技術と人間の新しい関係を切り開く建築を提案。主な著書に『全仕事』(大和書房)、『点・線・面』(岩波書店)、『負ける建築』(岩波書店)、『小さな建築』(岩波新書)、他多数。



©J.C. Carbone

Rotary
Region 1, 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2022年11月号 No.1

発行: Region 1, 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター



第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 安増 惇夫 (宗像)

私の所属する 2700 地区は、21 年に「地区戦略計画委員会」にて、「2700 地区 RAC 活性化対策」に取り組み、地区 RA 委員会、地区 RAC、等々の関係する委員会等で検討し、下記のような「2700 地区 RAC 諸規定」を定め、7 月 1 日に遡って発効しました。少しずつですがその好結果が見えたので、「皆様の参考にでもなれば」と考え、この欄にて紹介させていただきます。(掲載文字数の制限で、一部簡略・省略しています)

1. 地区内の RAC はそれぞれ一つの独立クラブと認識し、地区との包括的連携団体とします。そのために、青少年奉仕部門から分離し、地区 RA 委員会と相互に連絡を取りながら RAC の維持と活性化を図ることになります。
2. 地区内の RAC は、「自立した RAC」を目標として活動し、【常に会員増数に努力し、「提唱型 RAC」「独立型 RAC」は勿論、「地区支援型 RAC」も、「RAC から発展した衛星クラブ又はロータリークラブ】への移行を目指すか、RA 卒業後に アドバイザーの勤めるロータリークラブ会員又は「ロータリーフェローズ 2700」の会員になることを目指してください。
3. 2022 年度から 2700 地区 RAC として、地区組織からは別組織となりますが、双方は包括的連携協力を維持するために、指定する(省略)地区委員会に地区委員を所属させるとともに、地区主催の「地区研修・協議会」には、定められた方法で出席してください。
(RAC 地区委員は、2700 地区委員と同等の権利と義務を所持します)
4. RAC の会長は 地区主催の「PETS」に定められた方法で出席してください。
5. 2700 地区内 RAC は、下記の 3 つの形に分類し、支援クラブ・アドバイザー制度を設けます。(アドバイザーの役目は省略)
 - ① 独立型(企業型)RAC 柳川 2020RAC のような提唱クラブの無い型。
「RAC」と「支援クラブ」・「アドバイザー」の連携により共存共栄を図る理想的な RAC。
 - ② クラブ提唱型でクラブとの関係も良好で活動も活発な型。「RAC」と「支援クラブ」・「アドバイザー」・「クラブローターアクト委員会」の連携により、「衛星クラブ」として、独立運営が出来るように更に支援を進める。(提唱型クラブの RA が 4 人以下となり、その状態が 3 年続いた場合は、自動的に地区支援型 RA として、地区 RA 委員会はその手続きを行う)
 - ③ 地区支援型でクラブが提唱できないような少人数又は 1 人や 2 人の RA を育てるために「RA」と「推薦クラブ」・「アドバイザー」に「2700 地区 RA 委員会が支援する-地区支援型」の RAC とします。1 人からでも RA になることが出来ます。(地区内 1 クラブから推薦の RA が 5 人以上になる場合、クラブ内に「RA 委員会」を設置し、クラブ理事会の決定によって提唱クラブとなる手続きをして下さい。
6. 地区大会等に関する件
RA は地区主催の地区大会に出席する事は出来るが、参加人数、参加登録費等々はその都度、当事者間当事者の協議で決定する(簡略)。
7. 金銭に関わる件は詳細に規定していますが(省略)します。



奉仕プロジェクトが果たす公共イメージ向上への役割



第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 深尾 兼好（鹿児島西）

「ポリオ根絶」はロータリーの最優先事項、達成まであと一息。残り僅か2か国（アフガニスタンとパキスタン）となったが、完全撲滅には困難を極める。膨大な費用を要するが、日本国内でポリオはすでに忘れられた存在になっていて、ポリオに対する意識は低い。

日本でも毎年ワクチンを接種し続けなければ、世界のどこかにポリオウイルスがある限り、その侵入による感染リスクがあるとされる。今年は、日本各地で、地区単位、クラブ単位での「世界ポリオデー」イベントを企画、実施することが重点事項として取り上げられた。私の地区 2730 では、2750 地区の宮崎陽市郎 GE が宗谷岬から日本縦断「END POLIO Cycling Challenge 2750」を敢行され、佐多岬にゴールされるのを PR チャンスと捉え、「GOAL CEREMONY」を計画した。他人の輝で相撲を取るようで恐縮だが、マスコミ各社に働きかけ、その意義を説き取材の約束を取り付けた。地元の鹿屋市、南大隅町の関心も高く、多数の市民参加が期待できる。会場には巨大な「世界ポリオデー」の懸垂幕を設置、「END POLIO NOW」の PR コーナーも設ける。こういったイベントは全国一斉に実施する方が訴求効果も高く、正確な VI (Visual identity system) によってロータリーを印象づけることが可能となる。

また、振り返ると、昨年度は、「奉仕の実践」をスローガンとして日本中で「ロータリー奉仕デー」が実行された。その一つの重要なプロジェクトが「海岸美化プロジェクト」。世界で増え続ける海洋ごみ。日本中が心を一つにして、海洋ごみ削減のためのアクションを起こす、という取り組みが市民の中で大きな反響を呼び、2730 地区でも、海岸駐車場からはみ出す程のロータリアン、ロータリーファミリーと一般市民が集まり 1.6 キロの海岸で清掃活動を展開した。見た目は美しい白砂青松の海岸から想像もつかないゴミ 300 キロ余りを回収、専門家の分析に参加者はいちいち頂き、この取組の重要性をロータリアンと共有、プロジェクトの継続を誓いあった。

この他ロータリーの活動としては、地区補助金を活用した地域への貢献やグローバル補助金を使ったロータリーの重点分野への世界支援等、奉仕の機会は山ほどある。が、折角のこの機会を広くアピールすることなく、単に自己満足に終わらせているのが現状のようだ。公共イメージの向上に市民の共感を呼ぶ「奉仕プロジェクト」の実施・継続は欠かせない。ニュースのネタになる、市民の話題になるアプローチが、ロータリーを認知させ、プロジェクトへの共感が会員増強にも繋がる、と思うのだが。

第3地域 ARRFC を拝命して



第3地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 駒井 英基 (佐賀南)

昨年の7月に ARRFC を拝命してはや1年半程度となります。

それまでも個人として財団への寄付も続けておりましたし、国際財団活動の一環にも携わらせておりました。しかし実際に担当地域の会員の皆様へ、貴重な浄財の積極的なご寄付を推進する役目となりますと、中々難しい状況もありました。昨年コロナ禍はまた完全には収まっておらず、つい最近まで例会の開催がなされていないクラブもありました。地域差はあるかもしれませんが、九州地区では、クラブ例会や財団セミナーなどがリアルで行えないと、実際に皆様方の寄付行為への熱意を高めることができず、寄付額が伸び悩んでおりました。財団セミナーを ZOOM 等用いて、補助金活動の原資は、地区内会員の皆様からの年次基金が直接反映していることなど、お話ししていたつもりですが、やはりリアルのセミナーでないと伝わりにくいのだと危惧いたしました。唯、九州内では各地区に大口寄付をお願いさせていただきましたら、各財団委員長や委員会の皆様方のご協力も頂き、アーチ・クランプ・ソサエティ (AKS) や冠名基金等に新たにご協力頂くことができました。これには感謝の気持ちでいっぱいです。今年の秋葉になりまして各地区の補助金セミナーや財団セミナーが再開されておりますので、私も参加させていただいて、年次基金の意味や大切さと恒久基金への寄付の目的の違い等を各クラブの代表の方に直接お話させていただいております。直接の効果が解るのは来年の7月以降ですが、粘り強くお話を続けてまいります。



2022年9月17日 第2700地区 財団セミナー



1. 米山月間の由来

今年も米山月間がやってまいりました。国際ロータリー理事会が指定したロータリーの特別月間とは別に、日本独自の月間テーマとして、毎年10月は米山月間となっています。今回は改めて、その由来についてご紹介します。

1975年8月、米山梅吉翁が逝去した4月28日までの1週間を「米山週間」とすることが決定しました。ある地区ですで行われていた強化活動を全国へ広げ、米山奨学事業を促進することが目的でした。しかし1980年度になると、米山週間は4月から10月1日～7日へと変更されました。その理由はいくつかあります。一つには「ロータリー雑誌週間」が1978年度から4月と重なってしまったこと。また、4月では各

クラブへ送付される事業報告書などの資料数字が約1年前のものとなることや、採用されたばかりの奨学生に卓話を依頼することに無理がある、交通機関のストライキが多い、など現実的な支障があったためです。そして何よりも、東京RCによる米山基金から日本全地区クラブの共同事業とする決議や合意が行われた地区大会が、いずれも10月だったこと、これが大きな理由とされています。1983年からは週間制度が「月間」となり、10月が米山月間として定着し、今に至っています。当会の配布資料などを活用し、米山への理解促進へのご協力をお願いいたします。



2. 米山のルーツを訪ねる



9月24日から25日にかけて、第2790地区(千葉県)米山学友会主催で、「米山梅吉記念館探訪旅行」と題し、23人の学友・奨学生を含む27人が記念館を訪問しました。ほとんどの奨学生・学友にとって初めての記念館訪問で、梅吉翁の生涯、奉仕の精神に触れ、奨学生からは「米山奨学生になることができて光栄」、「平和な社会を築くために、米山梅吉のような人になりたい」といった声が多くあったとのこと。

また、2日目には東京へ戻り、サントリーホールにて「交響詩・古事記『一粒萬倍 A S E E D』五穀豊穡の物語」を観覧。「万物は一つに

つながっている」というテーマである物語を通じて、歴史の体験をしました。

同学友会副会長のグエン ビッグ フォンさん(2020-21/我孫子RC)は、「コロナ禍の影響でずっと活動が少なく、米山梅吉記念館も行ったことがなかったので、奨学生の皆さんと同じく新鮮な気持ちで参加しました。ロータリアンの方々と交流ができ、日本文化を勉強でき、新たな仲間もたくさんできました。米山奨学事業への理解、異文化理解について、より深まったと感じています。お世話になった皆さんへの感謝の気持ちでいっぱいです」と、述べました。



ぶどう狩りを楽しむグエンさん(中央)と奨学生

3. 映像で体感する米山奨学事業

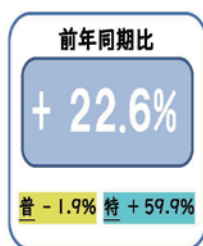
米山奨学会では、公式のYouTubeチャンネルにて、米山に関する動画を順次更新しています。

今年、新たに3人の親善大使の自己紹介動画、そして2760地区の奨学生選考過程に密着した、「よねやまに魅せられてーロータリアンの想いー」を公開しました。引き続き、米山奨学事業について、文字や写真のみでなく映像でも皆さまにお届けできるように努めてまいります。例会やセミナーなどで、YouTubeを活用し



て、気軽に上映していただくことが可能です。また、ご希望があれば映像をDVDとしてお送りさせていただきます。希望される方は当会の広報までご連絡ください。

4. 寄付金速報 — 年に1度の米山月間 —



9月までの寄付金は、前年同期と比べて22.6%増（普通寄付金:1.9%減、特別寄付金:59.9%増）、約7,760万円の増加となりました。今月の特別寄付金の大幅増は、267号で紹介した米山学友、周順圭さん（1962-63:東京西RC、1963-65&

66-68:東京世田谷RC）の約6,890万円のご寄付が当会に入金されたためです。皆さまの多額のご寄付とお気持ちに、改めて厚く御礼申し上げます。

また、東京城北RCの元会員、故飯島英夫氏のご遺志を継いで、令夫人の喜与子氏から昨年度いただいた1,000万円のご寄付に対し、9月30日、同クラブ例会にて、相澤光春副理事長から喜代子氏へ感謝状と特製盾を贈呈しました。

5. 夏のワークショップ in 浦項

8月27日、韓国米山学友会主催「夏のワークショップ in 浦項」が慶尚南道浦項市の浦項工科大学にて開催され、総勢16人が参加しました。

今回のワークショップは1泊2日の日程で、一般に立ち入ることができない大学内の放射光加速器等の研究所を訪問し、施設内の見学をしました。同学友会のワークショップは、メンバ



ワークショップの合間にカフェで一息

一同士の親睦と新たな知識共有の場として、7年前から毎年2回ほど開催しています。また、同学友会では、2016年から在韓日本人留学生への奨学金支援も毎年行っています。

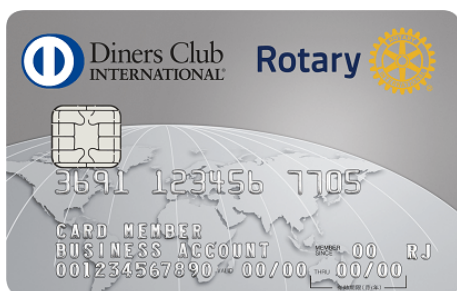
広報担当の金珉庭さん（2005-06/吹田西RC）は、「韓国で活躍している米山学友が研究、経済、情報などを共有できる学習の機会を提供するとともに、学友間の更なるコミュニケーションの場を設け、来韓した日本人留学生との密な交流を目指しています。今回は日本人留学生の参加は1人でしたが、今後は多くの日本人留学生が参加し、情報共有や相談ができ、勉学はもちろん、韓国での生活の活力になるような場にしていきたいです。私たち学友会は、さらに交流の輪を広げ、絆を深めることを第一に、さまざまな活動をしてまいります」と述べました。なお、韓国学友会は11月26日に総会を開催予定です。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当：野津(のづ)・長尾(ながお)

ロータリー・クレジットカードの御案内

皆さん、ロータリー・クレジットカードはご存じですか。このカード。ロータリーインターナショナルとカード会社が提携する形で、**カードの利用額の0.3%がポリオ根絶資金**に回されます。提携しているカードは、ダイナースクラブカードとマスターカードの2種類。**カード利用に際して、手数料は一切かかりません**。通常のカード年会費以外に**ロータリーインターナショナルとしての年会費は一切ありません**。ロータリー財団へのご寄付も可能です。財団へご寄付をされた場合は個人・クラブの年次寄附として加算されます。但し、通常のカード利用では、年次寄附には加算されません。この提携カードは2000年に開始され、860万米ドルが財団に寄附され、うち360万ドルがポリオ根絶資金として役立てられています。ここで、各カードの特徴を見ていきましょう。



ロータリーダイナースカード

Rotary Diners Card

個人カードの他にクラブカード、地区カード、地区委員会カードの3種類のコーポレートカードの発行が可能です。各コーポレートカードでは地区、クラブの研修、RIへの分担金、諸経費の支払いにも利用可能です。コーポレートカードでは利用対象者は限定されます。個人カードの場合、既にダイナースクラブにご入会している方は、一旦ご解約をして新規にロータリーダイナースカードにご入会して頂く形となります。**特徴はカードのサービスデスクとは別にロータリークラブ専用のデスクが設けられ**

ていることです。小職は個人カードを所持していますが、正直なところ、電話の繋がり具合、スタッフの対応が全く異なります。同カードの担当課長は、ロータリークラブの方々は社会的に選ばれた方々。一般のダイナースクラブカード保持者とは区別して、ロータリアンに相応しいサービスを心掛けていきたいと話されていました。

Rotary Diners Card

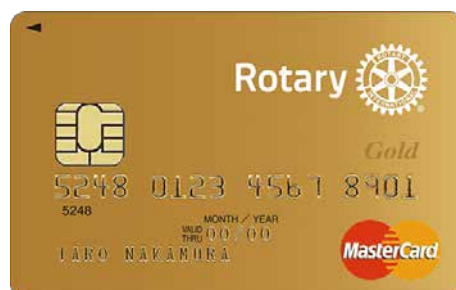
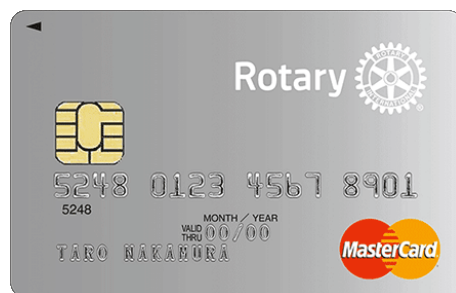
Rotary Master Card

ロータリーマスターカード

個人カードと法人カードの2種類。個人カードにはスタンダードとゴールドカードがあります。

個人のカードの場合、ポイントが溜まるとポイント該当金額をロータリー財団へ寄附することが出来ます。個人・クラブの年次基金としても加算されます。**法人カードの場合、利用額の0.5%がポリオ根絶資金として回されます**。但し、法人カードはクラブ、地区での利用は出来ません。

Rotary Master Card

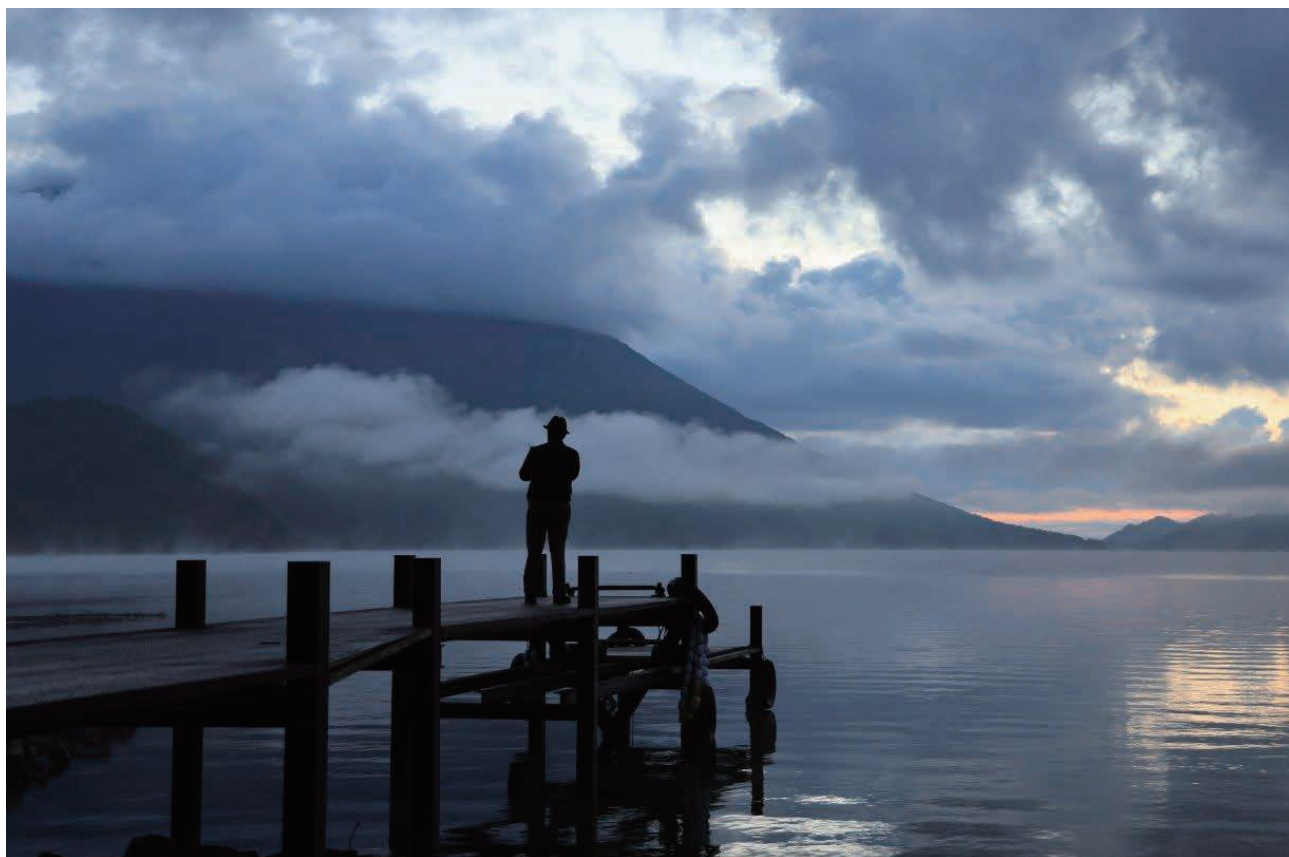


これを機会にロータリー・クレジットカードを新規に発行して、ロータリー活動に新たな1ページを加えていくのは如何でしょうか。敢えて身構えることなく、日々の生活で楽しみながら、ロータリー財団へ寄附。知らず知らずのカード利用が、世界のポリオ根絶に大きく貢献されます。皆様も是非、ロータリー・クレジットカードへご入会されることを強くお勧めします。





写真撮影が趣味の佐賀ガバナー
次号から、季節に合わせた
栃木の美しい風景をご紹介します。



中禅寺湖「我ここにて 無心なり」



日光 輪王寺

11 月の風景 *Naomichi Sanuki*